

2月豪雪災害 ～町内の農業被害を視察～

町長と県知事に 要望書を提出 国への意見書を可決

富士見町議会では3月7日付で町長に、11日には長野県知事宛てに、それぞれ「豪雪災害に対する要望書」を議長名で提出した。

また、3月定例会最終日の3月18日には、総務経済常任委員長の提出で追加上程された「豪雪災害に関する意見書」を全会一致で可決した。



町長への要望書を読み上げる議長



南原山にて被災したハウスを視察



新規就農者のハウスにも大きな被害



町内の農業法人にて詳しい被害状況について話を聞く

議会傍聴記

日頃不審に感じていたことを某議員に伝えたところ、一般質問するとの連絡があったので、初めての事ではあったが、聞きに行ってみた。結論としては、良くやったと思う。難しい問題だったが、ポイントを押さえた質問であり、答弁も、はぐらかすことなくきちんとしていた。難しい問題だったが、双方の努力を多としたい。今後ともこの様であることを期待する。

(60代男性)

日頃の活動、ご苦労様です。
傍聴させていただき「議会だより」「広報ふじみ」以外に、記事にならない質疑、応答を聞き、より町政が身近に感じました。通告をしての一般質問ですから、全項目、時間内で行うようにしてください。
さらに調査、審議し、より良い富士見町の行政を方向付けし、進歩が見えるよう望みます。

(男性)

《どうぞお気軽に議会傍聴にお越し下さい。》

編集後記

オルハン・パムクの小説「雪」の一説です。「雪を見ると、どんなにいがみ合っている人も人間なんて結局はみんな同じ、広大な宇宙や時間の前では人間の世界なんてちっぽけなものだっと思えるでしょう。だから雪が降ると人間は身体を寄せ合うのかも。雪って憎しみとか、野心とか、怒りとかを全部覆い尽くして、人間同士を互いに近づけてくれるものかもしれません」

2月の豪雪は、様々な課題を残しました。しかし地域のつながりの大切さも思い出させてくれたのではないのでしょうか。今回の事を期に、良いまちづくりとは何かを改めて考えていく必要を感じています。

(佐久祐司)

〈富士見町議会へご意見をお寄せください〉

【No.134】平成26年4月15日発行

発行:富士見町議会 / 編集:議会広報編集委員会
委員長 佐久祐司 副委員長 宮下伸悟
委員 小池 勇 平出隼仁

〒399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL:0266-62-9403 / FAX:0266-62-9320

E-mail:gikai@town.fujimi.lg.jp

印刷 (有)富士見印刷